

社会科

評価の観点

●印は観点、○印は評価の規準

●知識・技能

この観点では、社会の事柄についての基本的な知識を身に付けているか、基本的事項が理解されているか、また、適切な資料を効果的に活用し、工夫してまとめたりすることができるかを見ます。

○定期テストや単元テストなどを通して、社会的事象を考えるための基本的な用語を理解し、身に付けている。

○適切な地図、統計、文献、新聞などの資料を収集し、選択して活用する。また、地図、年表、レポート、グラフなどにまとめている。

●思考・判断・表現

この観点は、社会的な事柄について、いろいろな見方や考え方ができ、総合的に問題を考えたり、自分なりの表現をしたりすることができるかを見ます。

○社会的事象から課題を見付け、〈地理〉日本や世界の特色を環境や人々の生活など広い視野、〈歴史〉歴史の大きな流れと各時代の特色、〈公民〉社会的事象の意義や役割や相互の関連から多面的・多角的に考察している。

○考察した過程や結果を適切に表現している。

●主体的に学習に取り組む態度

この観点は、社会的事象の知識及び技能を獲得したり、思考力・表現力・判断力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする面と、その中で自らの学習を調整しようとする面を見ます。

○社会的事象について関心を高め、意欲的に調べようとしている。

○意欲的に自分の考えを発表したり、ノートに記録したりしている。



学習の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

(学習指導要領より)

学習の特色

社会科は、地理的分野、歴史的分野、公民的分野の3分野からなっています。具体的な事象を通して、課題を追究、考察する学習を多く行います。その学習の過程で、調べ方や学び方、見方や考え方を学び、身に付けるようにしていきます。従って、授業では、調査、研究、発表、討論などの作業的・体験的な学習、問題解決的な学習に取り組んでいきます。

3分野とも、次のような資料を活用しながら、さまざまな面や角度から考える力を付けていくことが目的です。

【地理】地図帳、各種統計データ など

【歴史】年表、地域資料 など

【公民】資料集、新聞資料 など

学習の仕方

- ・提出物の提出期限は必ず守る。
- ・他人の発表や発言はしっかりと聞き、自分の考えははっきり言えるようにする。
- ・教科書などの基本的な用語（太文字）を中心に覚える。
- ・調べた内容は、地図や年表、図表などを使って表現できるようにする。
- ・調べる時には、できる限りいろいろな資料を集め、その中から必要な部分を利用するようにする。
- ・レポートにする時は、自分の予想、考えた流れ、利用した資料、結果という流れでまとめていく。また、他人が見て理解しやすいように工夫をする。
- ・一つの疑問や課題に対して、いろいろな面や角度から考えるようにする。

家庭学習では、予習や復習（教科書を読もう！）を行い、基本的な用語は書きながら覚えていきたいと思います。また、普段からニュースや新聞記事に親しむようにしてください。